



紅梅を啄ばむ
「ひよどり」

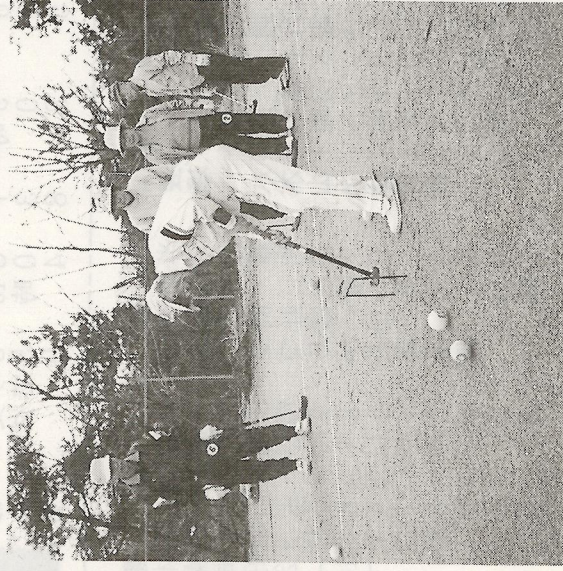
ネットワークへ八木山

各務原市社会福祉協議会八木山連合支部 ・ 八木山まちづくり協議会 共同製作

『八木山だより』 1955. 3発行
NO. 5
発行者 衣笠 豊 84-7106
事務局 84-0863 (蛭川)
担当 84-2678 (辻岡)
連絡先 金子幸治 (松) 84-1652
屋野克彦 (松) 84-2197
森下 高理 (つじ) 84-9804
嘉昭 (つじ) 84-9944

まちづくり協議会加盟団体

- 老人クラブ
月一全員集会、お互い顔見知りにならう。災害時、行方不明の数にもはいわず誰か思い出していただければこんな寂しい事はない。
- 松が丘長寿会
須田福治 85-0166
- つつじが丘山茂之 70-5258
- つつじが丘婦人会
お華、編み物、ソーイング、押し花の各教室を計画。講師も会員です。お気軽に。太田圭子 84-8926



私たちの町、八木山には数多くの団体、サークル、グループがあります。健康づくりから文化教養、趣味、研究等々楽しく活動しています。どの団体もご近所の皆さんとの楽しい仲間づくりを目指しています。皆さんも時間を作り参加してみませんか。

今回の紹介は協議会事務局で調べ、公募しているものを載せました。漏れや変更、間違いがありましたらお知らせ下さい。号を改めてお知らせします。

特集

八木山のサークル・グループ紹介

貴方も挑戦！楽しい仲間づくりしませんか

- 八木山少年指導部会
- 八木山野球スポーツ少年団
3・4年生：日曜11時～13時
5・6年生：土曜午後(第三を除く)三井一郎 85-10999
- 八木山サッカースポーツ少年団
土曜午後、日曜午前(第三を除く)小島操 70-11896
- 八木山女子バレースポーツ少年団
土曜午後、日曜午前 小体育館。
小野喜代美 84-8323
- 八木山剣道少年団
火曜、日曜18時半～小体育館。
森治子 84-13880
- 各務原ひがし子ども劇場
年四回の舞台観賞とキャンプ等自主活動。
- 田中和子 84-13880
- 岐阜各務原児童合唱団。土曜午後。才原淳子 84-17413

サークル・同好会

名前の後の○の数字は会員数

- 「会場」松が丘コミュニティセンター
- コミュニティぴんぽん(7)
毎週火、金曜20時～22時半。
ストレッチ体操とピンポン
- 八木山校下卓球クラブ(33)
毎週木曜19時より
市原喜代三 70-4721
- かるがもクラブ(22)
毎週土、日曜14時より。親子による卓球
堀内千代子 85-11863
- さくらクラブ(12)
毎週月、曜19時半より。ジャズダンス、健康体操
工藤照子 84-11765
- 3B体操(18)
毎週金曜午前、午後。ストレッチングと柔軟体操
眞弓美紀子 85-10582
- 松が丘健康サークル(22)
毎週木曜午前。ヨガ体操
野田ふじ子 84-9970

- リフレッシュ・ヨガサークル(18)
毎週金曜午前。ヨガ体操。
成田裕子 84-16234
- あさがお会(10)
毎週火曜午前。ストレッチ体操。
折笠紀子 84-13078
- 各務原東ミセスフォークダンス(14)
毎週月曜13時より
貞岡照子 70-14065
- さつき会(17)
毎週土・日曜19時より。健康運動とダンス
伊藤幸代 84-16082
- 手芸教室仲よし会(46)
毎月1・3火曜13時～16時
森朴哉子 84-18302
- 松が丘ひまわりの会(18)
毎週2・4水曜午後
唄のレッスンと親睦
野田ハツ子 84-4410
- 女性コトラス山査子(さんざし)(25)
毎週火曜午後。歌の向上を
山本裕子 84-13496
- 長寿会カラオケ同好会(男)
毎週火・木曜午後。歌と情報交換
萩尾正 84-13486
- 長寿会カラオケ同好会(女)
毎週金曜午後。歌と趣味情報
加藤宣美子 84-13520
- 長寿会金琴会
毎週木曜午後。大正琴奏法
中村くら志 84-18428



春の陽射しを受ける菜の花
坂本寛文(つつじが丘2)



- 白ゆり会(7)
月三回土曜の午後。琴奏法
大協美代子 84-17067
- 長寿会俳句・詩吟クラブ(13)
毎週月曜13時～16時
伊藤孝 84-13869
- 長寿会囲碁・将棋同好会(18)
毎週木・土曜13時～16時
須田福治 85-10166
- 松が丘囲碁クラブ(17)
毎週土曜19時～21時
薫田晃 84-17459
- 古代史を楽しむ会(14)
毎月第四土曜19時より
金子幸治 70-11652
- 八木山自然の会(25)
野外と室内、不定期月一回(土曜の午後が中心)を緑を増やし環境を守り自然を楽しむ
田川徹 85-11813

次のページにつづく

身近な阪神大震災に思う

松が丘七 菱川由美子

ガンと突然きたという。統揺れも横揺れも関係なく一緒にきたという。夫が単身赴任中の神戸の妹は二人の子供と寝ていた。家具が三人の上に倒れてきた。なんとか自力で脱出し子供を確認する。小四の長女が出られない。電気は切れ暗闇だ。懐中電灯を探す。なんてことだ。倒れた家具の中だった。子供を救おうと動きまわる。グラウンドピアノまでが移動するという激震に、ガラス陶器類は破壊され散乱していた。妹は足裏に軽度の受傷をする。▼これが被災生活の始まりであった。欲しいほしいものの筆頭は信頼できる情報。何日か後に飲んだ温かいお茶に生き返った心地がしたとも。心強いのは結局近所の人達との助け合いだという。自助努力が機能している地域の人々の表情は明るい。

▼万に一、八木山が被災地になったとき我々の表情は明るく保てるだろうか。実は私達の一人一人がその答えを握っている。

この手記を書かれた菱川さんのお母さまも被災され、ここ松が丘に避難されています。阪神の皆さんの貴重な経験をお寄せいただきありがとうございます。

